



夏の始まりは「祭」
(稲城市フォトギャラリー投稿作品)

- 主な記事**
- ごみを出す前に、もう一度
分別の確認をしましょう! (2)
 - 介護保険制度 (3)
 - ペイジー口座振替受付サービス
を拡大します (5)
 - 第42回稲城市環境美化市民運動 (8)



ホームページ [HP](http://www.city.inagi.tokyo.jp/) <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
公式ツイッター http://twitter.com/inagi_city
メール配信サービス(登録される方は、左のQRコードから、
または「inacity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください)

市役所(代表) 1042-378-2111
平尾出張所 1042-331-6346
若葉台出張所 1042-350-6321
開庁時間 午前8時30分~午後5時

広報いなぎの配布方法 広報いなぎはポスティングによる全戸配布を行っています。それに伴い、発行日の3日ほど前から配布を始めています。秘書広報課広報広聴係

新しい農業のかたち 始まります 援農ボランティア制度



援農ボランティア制度は、担い手不足で悩む農家さんと、農や食に興味のある市民を結び付け、稲城の農業を豊かにする新しい制度です。ボランティア希望者は「いなぎ農業ふれあい塾」で1年間の研修を行い、受け入れ元でボランティアとして活動を始めます。ボランティアになった方は、市内の農家で週1~3回程活動をしていただきます。種まきや草むしり、収穫などを楽しみながら農家さんをサポートします。一緒に稲城の農業を支えましょう。

問 経済観光課農政係

いなぎ農業ふれあい塾とは?

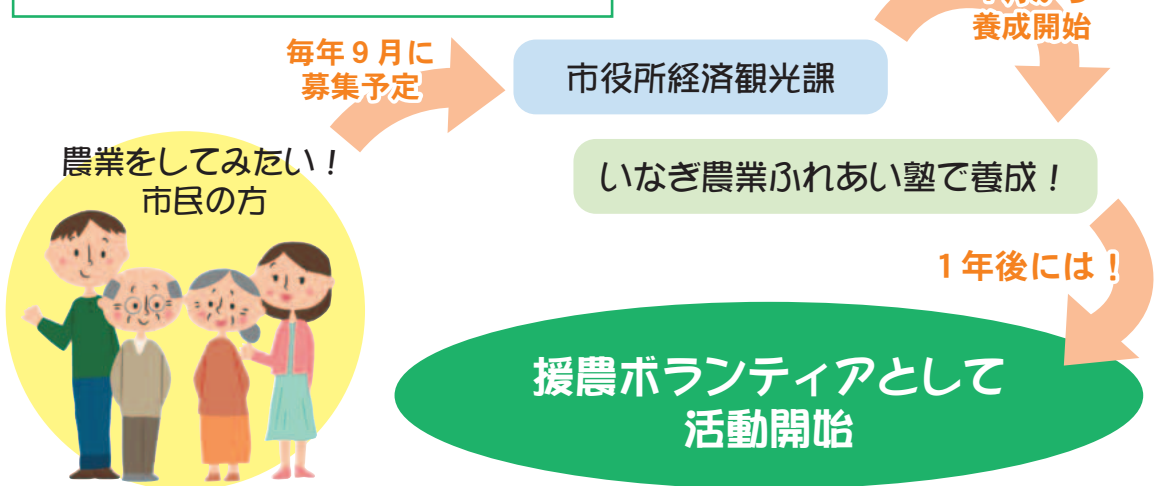
援農ボランティアに従事する方を1年間の講座・実習を通して養成し、農作業に必要な基礎知識を学びます。

月1回の座学と、月2回の実習(下図参照)では、土作りや作付け、農機具の使い方、収穫方法などを行います。



実習の様子(日野市・農の学校)

援農ボランティア制度の仕組み



1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 翌1月

いなぎ農業ふれあい塾に入塾

1月 土作り → 2月 植付 → 3月 芽かき → 4月 土寄せ → 5月 収穫!!

耕やして良質な土を作ります
5カ月後にはおいしいジャガイモができます!

根まで土をかけ、しっかり根を張らせませす

ゴロゴロしたジャガイモをたくさん収穫します!

卒業し、ボランティアとして活動開始

じゃがいもやにんじんなど
合計20種類を作ります
いっしょに学びましょう!!

JA東京みなみ職員・稲城市農業委員(講師)

